

『「類を見ず」 峠をほめた イザベラバード』



イザベラバード

イザベラバードはイギリスの女性探検家です。明治11年に日本にやってきて羽州街道を北上しました。イザベラバードは著書「日本奥地紀行」の中で矢立峠について次のように書いています。

「そこは、鮮やかな桃色と緑色の岩石に発破をかけて作った道路で、水が川から滴り落ちて光り輝いて見えた。私は日本で見たどの峠よりもこの峠をほめたたえたい・・・」